

基本理念	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 人権を尊重し、利用者本位のサービス提供に努めます。</li> <li>・ 利用する子どもの将来を見通した療育、生活支援に努めます。</li> <li>・ 関係機関と十分連携を図るとともに、その専門性を発揮し地域支援に努めます。</li> </ul>		
支援方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学校生活等での集団活動や友だちとの関わりの上で難しさや困り感を持つ子どもや、様々な事に対する不安が高く不安との向き合い方に難しさを持つ子どもに対して、SST（ソーシャルスキルトレーニング）等を用いながら集団活動の中で療育を行います。</li> <li>・ こども発達支援センター診療所の担当医師が、当センター放課後等デイサービスでの療育が適切と判断した子どもを対象とします。</li> <li>・ 支援をする上で必要な際には、学校や関係機関と情報共有等の連携をして支援します。</li> </ul>		
営業時間	(火～金曜日) 10時30分～18時30分 (土曜日) 9時～17時	送迎実施の有無	無し
	<p style="text-align: center;">支 援 内 容 （5領域）</p> <p style="text-align: center;">（ ※社会…社会性・人間関係、言語…言語・コミュニケーション、認知…認知・行動、運動…運動・感覚、生活…生活・健康 ）</p>		
本人支援	生活全体	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自分の思いを言葉で発信して伝わったという経験を積めるように、職員が子どもの思いに合った言葉を伝えたり安心感に繋がるサポートをしたりします。(言語・認知)</li> <li>・ 自分の言動を振り返ったりより良い関わり方を身に付けたりできるように、実際の子どもの言葉遣いや友だちとの関わり方に対して、適宜職員が注意点等を伝えます。(社会・言語)</li> <li>・ 安心して過ごせる場所、安心して関われる友だちと感じられるように、職員や友だちと一緒に楽しんだり自分の思いを認めてもらったりできる活動や環境を職員が設定します。(社会・認知)</li> <li>・ 自己肯定感に繋がるように、職員が子どもの良い姿や頑張っている事を伝えていきます。(認知)</li> <li>・ 職員が子どもの検温や体調等の聞き取りを行い、子どもの体調や生活リズムを把握します。(生活)</li> <li>・ 自分の荷物や使用した物を所定の場所に片付ける等、整理整頓に取り組む機会を職員が設定します。(生活)</li> <li>・ 見通しを持って自分から活動できるように、活動前に職員が活動予定や内容を説明します。(生活)</li> </ul>	
	SSTのワーク活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 友だちとのより良い関わり方を学べるように、職員が具体的な場面を想定して見本の提示や適切な言動の伝達、練習の機会を設定します。(社会)</li> <li>・ 学んだ方法を実際の友だちとの関わりや集団活動の中で使えるように、職員が活動内容や場面の設定、子どもへの促し等を行います。(社会)</li> <li>・ 自分の年齢や相手、場面に合わせた適切な言葉遣いを学べるように、職員が適切な言葉を具体的に伝えます。(社会・言語)</li> </ul>	

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・考え方の幅を上げたり物事を前向きに捉える考え方を知ったりできるように、職員が様々な考え方を伝えたり友だちの意見を聞く場面を設定したりします。(認知)</li> </ul>
集団遊び	<ul style="list-style-type: none"> <li>・友だちとの関わりや集団活動が楽しいと思えるように、職員が子ども達の間に入ったり集団で楽しめる活動を設定したりします。(社会)</li> <li>・友だちに良い関わり方をしようとする思いを高めていけるように、友だちとの関わりを楽しむ経験ができる活動を職員が設定します。(社会)</li> <li>・実際の集団活動や友だちとの関わりを通して集団場面でのルールや友だちとの関わり方を知れるように、職員が活動内容の設定や関わりを行います。(社会)</li> <li>・集団活動や苦手な活動に参加しやすいように、職員が取り組みやすい工夫や環境設定を行います。(社会・認知)</li> <li>・失敗や負ける事があっても活動に参加する思いに繋がるように、楽しさと共に成功失敗や勝ち負けがある活動や、成功失敗や勝ち負けの結果ではなく友だちと一緒に遊んだ事を楽しめる活動を職員が設定します。(認知)</li> <li>・様々な運動や手指操作、道具使用の経験を積めるように、子どもの様子に合わせた運動遊びや制作活動を職員が設定します。(運動)</li> <li>・運動や制作の楽しさや達成感を感じられるように、子ども達が楽しめる内容や取り組んだ結果が分かりやすい活動を職員が設定します。(運動)</li> </ul>
主な行事等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学んだ関わり方や言葉遣いを実践する場として在籍クラス以外の人と関わる機会となるように、すてっぷマーケットを実施します。</li> <li>・各クラスの様子に合わせて、クラスごとに所外活動やクッキング、季節に合わせた制作活動を検討、実施します。</li> </ul>
移行支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者や子どもから聞き取ったり学校と情報共有したりして、学校での様子や状況を把握して支援します。</li> <li>・学校での場面や子どもの困り事を想定したSSTに取り組み、日常生活に繋がりをやすくします。</li> </ul>
家族支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年間6回の個別懇談を行い、保護者や家族の思いを聞き取ったり、子どもとの関わり方について伝えたりします。</li> <li>・保護者や家族からの相談に対して、随時個別懇談を設定します。</li> <li>・保護者参観を行い、放デイでの取組や子どもとの関わり方等について保護者に知っていただく機会を設定します。</li> <li>・保護者向けの学習会を企画して、必要な情報を知ってもらう機会を設定します。</li> </ul>
地域支援・地域連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育所等訪問支援を通して学校に訪問を行い、様々な支援方法を伝えたり、学校やクラスに合わせた支援方法を相談したりします。</li> <li>・学校の先生や地域の放課後等デイサービス事業所等の見学の受入、地域の自立支援協議会等への参加や報告等を通して、当センター放課後等デイサービスでの取組を発信します。</li> </ul>
職員の質の向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎回の活動の打ち合わせや振り返りを複数の職員で行い、お互いの支援スキルや視点を共有できるようにします。</li> <li>・SSTや子どもを支援する上で必要となるスキルや知識について、適宜事業所内で研修を行います。</li> <li>・子どもを支援する上で必要となる内容の外部研修に職員を派遣し、事業所内で共有します。</li> </ul>

